

第1章 園の基本情報 <調査項目>

第1節 園の体制

- ① 〈認定こども園〉 認定状況・類型・申請する予定がない理由 ……P11, 12
- ② 園児数、学級数、1学級あたりの園児数、担任数 ……P13, 14
- ③ 〈2歳児の入園〉 受け入れの有無・入る学級・頻度 ……P15
- ④ 〈満3歳児の入園〉 受け入れの有無・入る学級・今後の予定 ……P16
- ⑤ 〈特別支援児〉 有無・体制 ……P17
- ⑥ 〈異年齢による学級編成〉 実施有無 ……P18

第2節 教員

- ① 園長は兼任か専任か、副園長（教頭）・主任の有無 ……P19
- ② 園長の教職経験 ……P20
- ③ 教員の雇用形態別割合・教職経験年数別割合 ……P21
- ④ 教員が保有する免許の種類、フリー教員・子育て支援教員の割合 ……P22
- ⑤ 〈園内研修・園外研修〉 頻度・専門家を招聘する回数・年間予算 ……P23-25
- ⑥ 妊娠出産後の継続勤務者・育児休業制度利用者の有無 ……P26

第3節 その他

- ① 〈安全対策〉 実施率 ……P27
- ② 〈自己評価・外部評価など〉 実施有無・今後の意向 ……P28, 29

第1章 園の基本情報 <調査結果 要約>

第1節 園の体制

- ①【認定こども園】 私立の22.3%が「申請を検討中」である
- ①【認定こども園】 私立の非申請理由のトップは「施設・設備の面で対応できない」である
- ②【園児数：国公立】 1学級あたりの平均園児数は、3歳児：18.4人、4歳児：23.0人、5歳児：24.2人
- ②【園児数：私立】 1学級あたりの平均園児数は、3歳児：19.7人、4歳児：25.0人、5歳児：25.9人
- ③【2歳児の入園】 私立の26.4%が受け入れている
- ④【満3歳児の入園】 国公立の6.0%、私立の55.9%が受け入れている
- ⑤【特別支援児】 国公立の66.8%、私立の50.0%の園にいる
- ⑥【異年齢による学級編成】 国公立の8.0%、私立の19.1%が実施している

第2節 教員

- ①【園長など】 国公立の約3割の園長が「兼任」である
- ②【園長】 幼稚園教員の経験がある園長は、国公立の53.6%、私立の41.1%にいる
- ③【教員】 国公立の42.3%が「10年以上」、私立の50.8%が「5年未満」の教職経験である
- ④【教員】 幼稚園教諭一種免許の保有率は、国公立で40.6%、私立で19.0%である
- ⑤【園内・園外研修】 園内研修：国公立は「月に1,2回」、私立は「年に数回」が多い
- ⑤【国公立：園内・園外研修】 61.1%の園が、年に「1-4回」程度、園内研修に専門家を招聘している
- ⑤【私立：園内・園外研修】 42.1%の園が、年に「1-4回」程度、園内研修に専門家を招聘している
- ⑥【教員】 私立の3園に1園は、妊娠・出産後の継続勤務者がいない

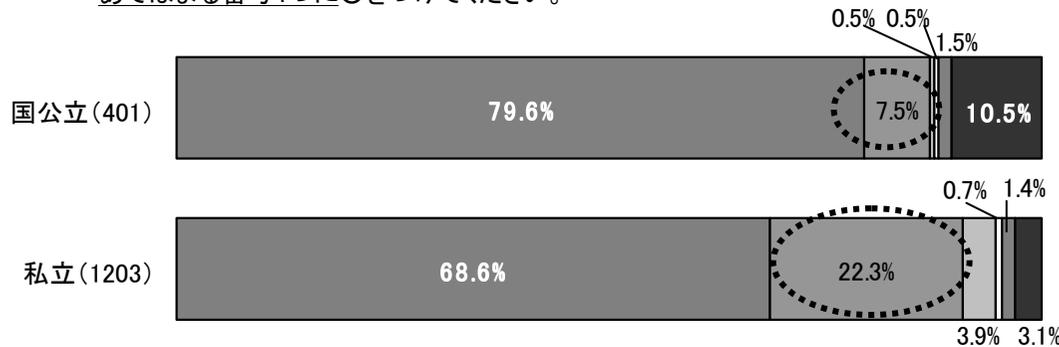
第3節 その他

- ①【安全対策】 国公立の25.2%、私立の39.5%が防犯カメラを設置している
- ②【評価】 自己・外部評価の実施は、国公立のほうが進んでいる
- ②【評価】 評価制度の新たな導入は、「検討中」の園が多い

【認定こども園】 私立の22.3%が、「申請を検討中」である

■ 認定こども園の認定状況

平成19年6月1日現在における認定こども園の認定状況について
 あてはまる番号1つに○をつけてください。



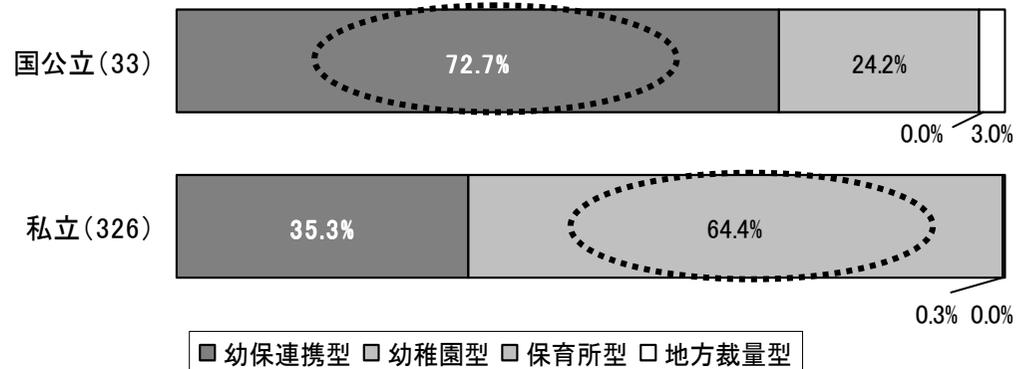
- 認定を受けていないし、申請する予定もない
- 認定を受けていないが、検討中
- 認定を受けていないが、申請する予定
- 認定を受けていないが、申請中
- 認定を受けている
- 無答不明

(申請を検討中／申請する予定／申請中／認定を受けている園のみ)

■ 類型について

類型について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※無答不明を除く



〈認定こども園の申請・認定状況〉 国公立の約8割、私立の約7割が、「認定を受けていないし、申請する予定もない」として
 いる一方、国公立の7.5%、私立の22.3%は「検討中」と回答している。

〈類型〉 「申請を検討中／申請する予定／申請中／認定を受けている」園のうち、類型は、国公立では「幼保連携型」が
 72.7%と最も多く、私立は「幼稚園型」が64.4%で最も多い。

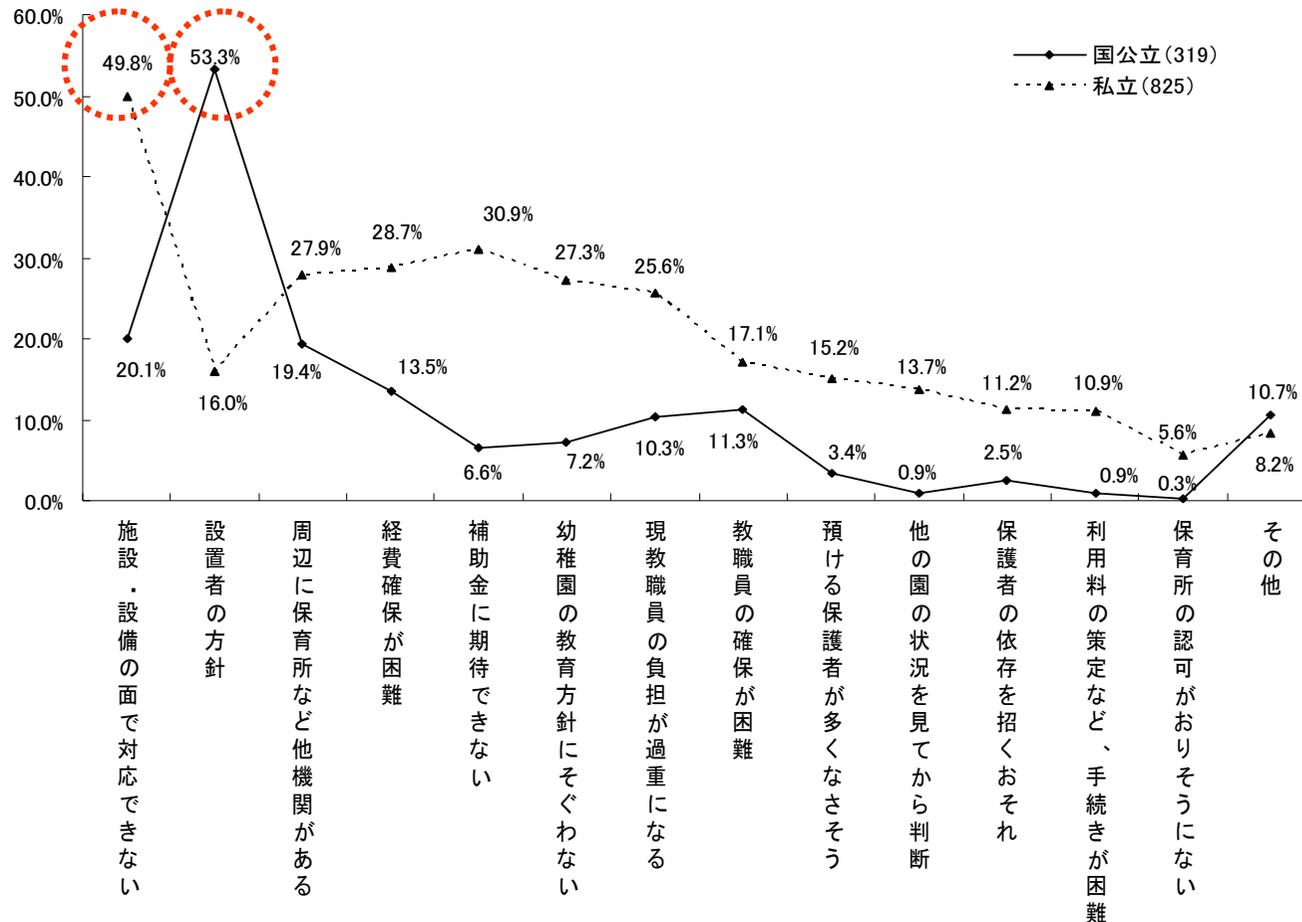
【認定こども園】 私立の非申請理由のトップは「施設・設備の面では対応できない」である

■ 申請する予定がない理由

(認定こども園として申請する予定がない園のみ)

申請する予定がない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※複数回答



総じて私立のほうが、各項目を選択する割合が高い。申請する予定がない園のうち、私立では、多い理由から順に「施設・設備の面では対応できない」(49.8%)、「補助金に期待できない」(30.9%)、「経費確保が困難」(28.7%)。国公立では「設置者の方針」(53.3%)がトップであり、「施設・設備の面では対応できない」(20.1%)、「周辺に保育所など他機関がある」(19.4%)も約2割ほど選択されている。

【国公立】 1学級あたりの平均園児数は、3歳児：18.4人、4歳児：23.0人、5歳児：24.2人

平成19年6月1日現在の園児数と学級数、担任数について、()内に数字を記入してください。

<園児数、学級数、1学級あたりの園児数、担任数>

※無答不明を除く

※*1,2,4は、1人あるいは1学級以上のケースのみ分析。

*3は、園児数・学級数ともに1人・1学級以上のケースのみ抽出し、(園児数÷学級数)で算出

■3歳児(平均)

合計園児数 *1	27.4人
学級数 *2	1.5学級
1学級あたりの園児数 *3	18.4人
合計担任数 *4	2.0人

(サンプル数:*1 196人、*2 194学級、*3 194学級、*4 192人)

■4歳児(平均)

合計園児数 *1	35.6人
学級数 *2	1.5学級
1学級あたりの園児数 *3	23.0人
合計担任数 *4	1.7人

(サンプル数:*1 374人、*2 369学級、*3 369学級、*4 363人)

■5歳児(平均)

合計園児数 *1	40.0人
学級数 *2	1.6学級
1学級あたりの園児数 *3	24.2人
合計担任数 *4	1.8人

(サンプル数:*1 397人、*2 393学級、*3 393学級、*4 386人)

【私立】1学級あたりの平均園児数は、3歳児：19.7人、4歳児：25.0人、5歳児：25.9人

＜園児数、学級数、1学級あたりの園児数、担任数＞

※無答不明を除く

※*1,2,4は、1人あるいは1学級以上のケースのみ分析。

*3は、園児数・学級数ともに1人・1学級以上のケースのみ抽出し、(園児数÷学級数)で算出

■3歳児(平均)

合計園児数 *1	49.4人
学級数 *2	2.5学級
1学級あたりの園児数 *3	19.7人
合計担任数 *4	3.6人

(サンプル数:*1 1164人、*2 1142学級、*3 1133学級、*4 1136人)

■4歳児(平均)

合計園児数 *1	60.5人
学級数 *2	2.5学級
1学級あたりの園児数 *3	25.0人
合計担任数 *4	2.7人

(サンプル数:*1 1168人、*2 1146学級、*3 1134学級、*4 1136人)

■5歳児(平均)

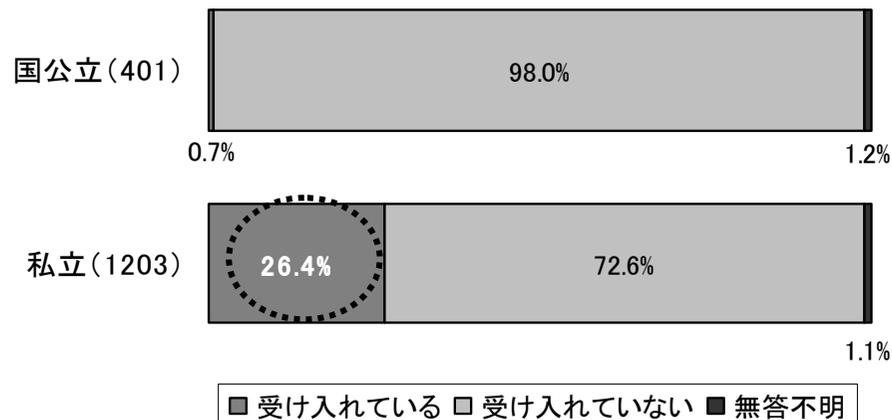
合計園児数 *1	62.4人
学級数 *2	2.4学級
1学級あたりの園児数 *3	25.9人
合計担任数 *4	2.6人

(サンプル数:*1 1169人、*2 1147学級、*3 1137学級、*4 1134人)

【2歳児の入園】 私立の26.4%が受け入れている

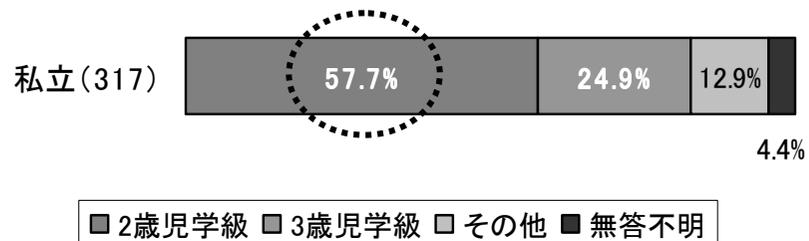
■ 2歳児の入園の受け入れ有無

貴園では、2歳児の入園(※親子登園とは異なる)を受け入れていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



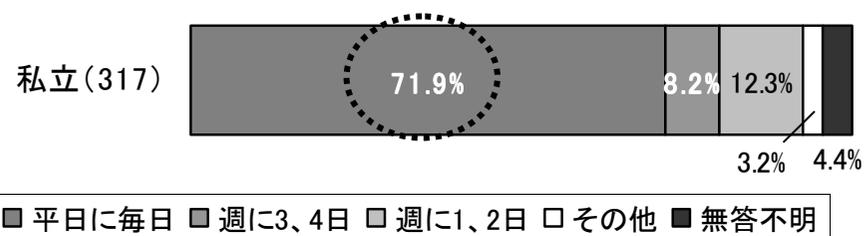
(2歳児の入園を受け入れている園のみ)

■ 園児が入る学級



(2歳児の入園を受け入れている園のみ)

■ 受け入れの頻度



〈受け入れの有無〉 私立の26.4%が受け入れている。

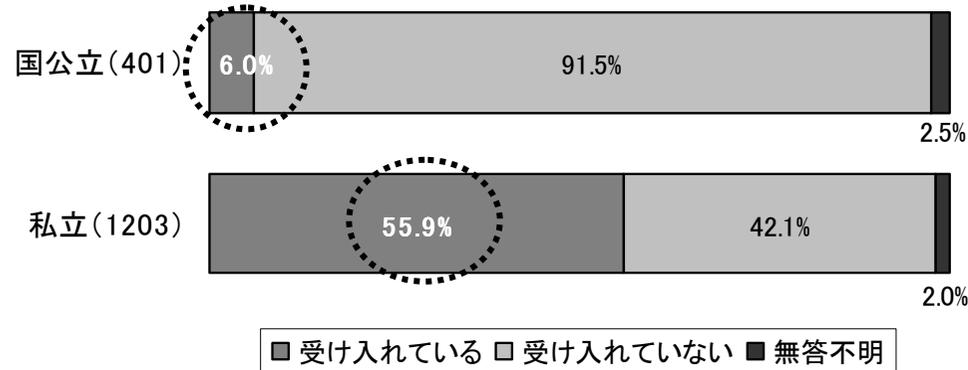
〈園児が入る学級〉 受け入れている私立のうち、57.7%が「2歳児だけの学級」を設けている。

〈受け入れの頻度〉 受け入れている私立のうち、約7割が「平日に毎日」受け入れている。

【満3歳児の入園】国公立の6.0%、私立の55.9%が受け入れている

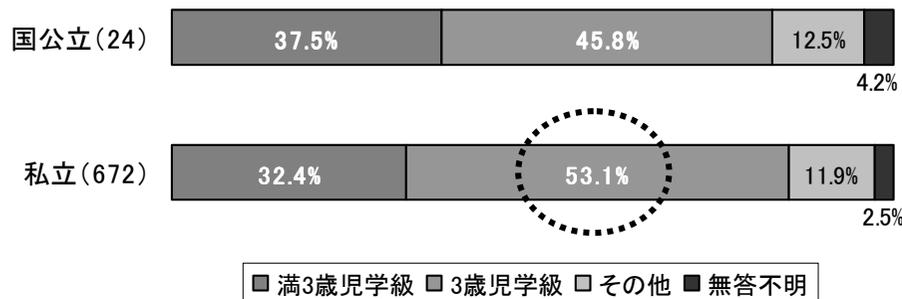
■ 満3歳児の入園の受け入れ有無

貴園では、満3歳児の入園(3歳の誕生日直後からの入園)を受け入れていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



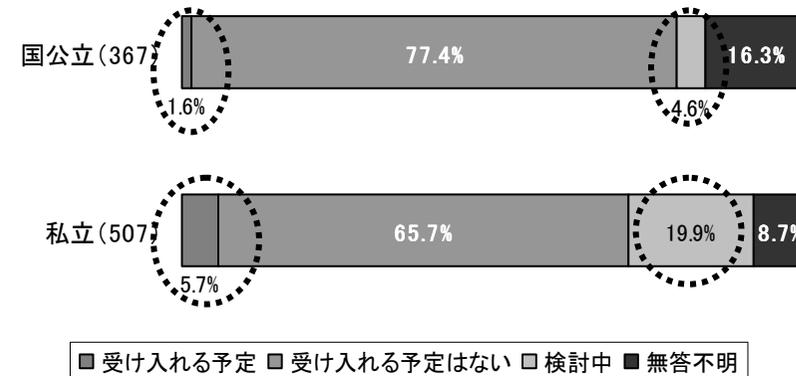
(満3歳児の入園を受け入れている園のみ)

■ 園児が入る学級



(満3歳児の入園を受け入っていない園のみ)

■ 今後の受け入れ予定



〈受け入れの有無〉国公立の6.0%、私立の55.9%が受け入れている。

〈園児が入る学級〉満3歳児の入園を受け入れている私立のうち、53.1%で園児は「3歳児の学級」に入っている。

〈今後の受け入れ予定〉満3歳児の入園を受け入っていない私立のうち、5.7%が「受け入れる予定」、19.9%が「検討中」と回答している。一方、国公立は、「受け入れる予定」は1.6%、「検討中」は4.6%と少ない。

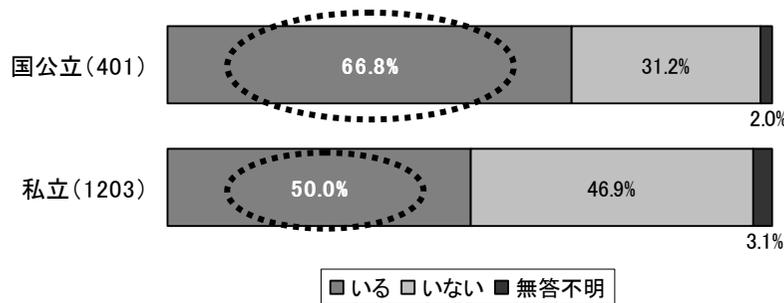
【特別支援児】 国公立の66.8%、私立の50.0%の園にいる



(特別に支援を必要とする園児がいる園のみ)

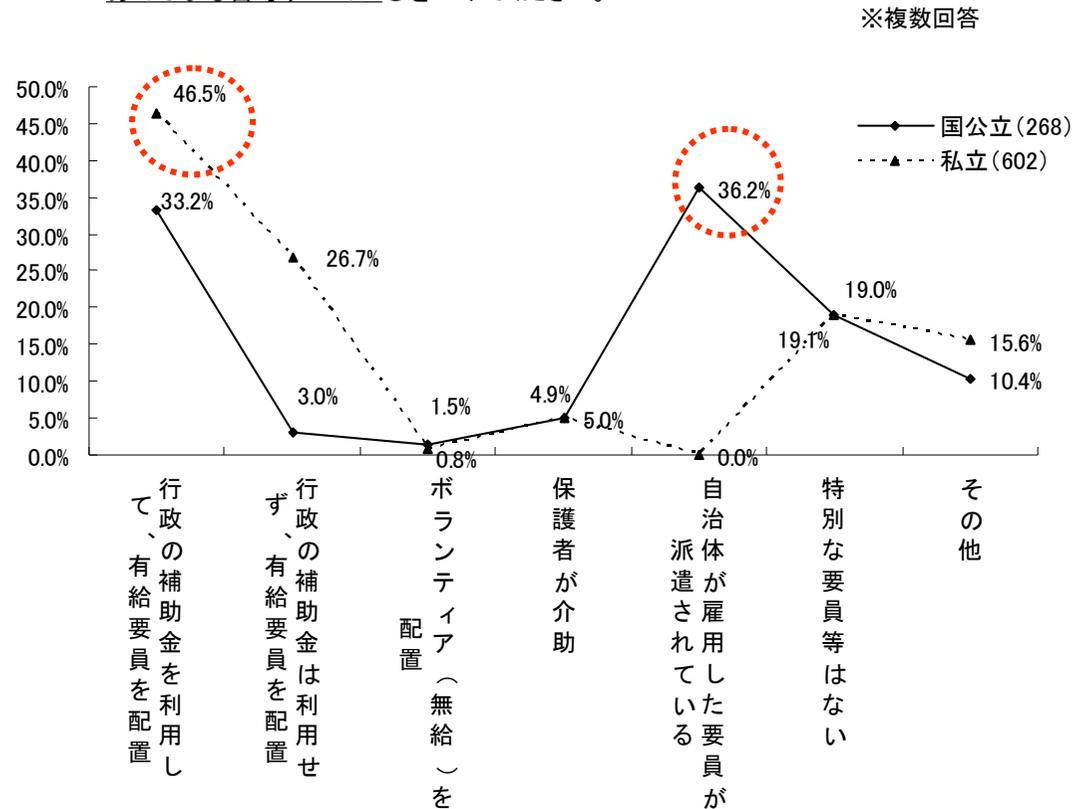
■ 特別に支援を必要とする園児の有無

貴園には、特別に支援を必要とする園児はいますか。
あてはまる番号に○をつけてください。



■ 園児の支援のためにどのような体制をとっているか

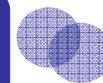
その園児の支援のために、どのような体制をとっていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



〈受け入れの有無〉 国公立の66.8%、私立の50.0%に、特別に支援を必要とする園児がいる。

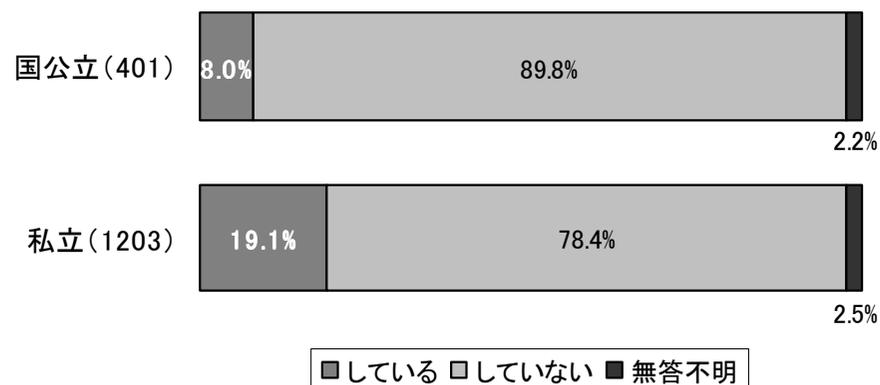
〈受け入れの体制〉 特別に支援を必要とする園児がいる園のうち、国公立では「自治体が雇用した要員が派遣されている」が36.2%と最も多く、次に「行政の補助金を利用して、特別な要員(有給)を配置」の33.2%が続く。私立では、「行政の補助金を利用して、特別な要員(有給)を配置」が46.5%と最も多く、次に「行政の補助金を利用しないで、特別な要員(有給)を配置」の26.7%が続く。

【異年齢による学級編成】 国公立の8.0%、私立の19.1%が実施している



■ 異年齢による学級編成

貴園では、異年齢による学級を編成していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

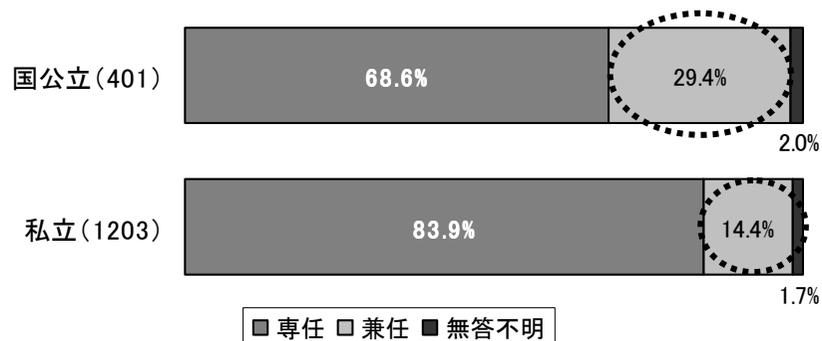


異年齢による学級編成は、国公立の8.0%、私立の19.1%の園が行っている。

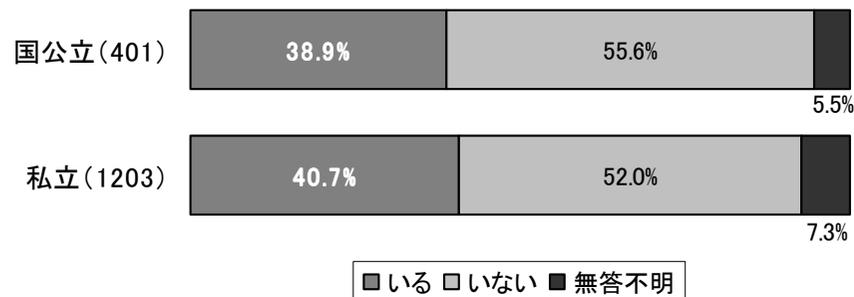
【園長など】 国公立の約3割の園長が「兼任」である

■園長の兼任・専任

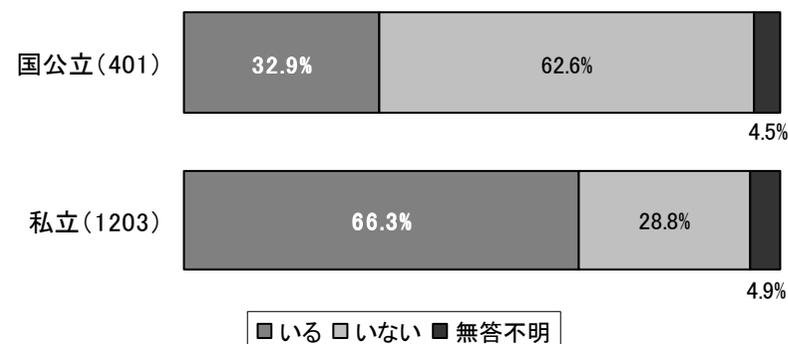
次の役職者の有無などについて、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。



■副園長（教頭）の有無



■主任（学級担任を除く）の有無



〈園長の専任・兼任〉 国公立では29.4%、私立では14.4%の園長が「兼任」である。

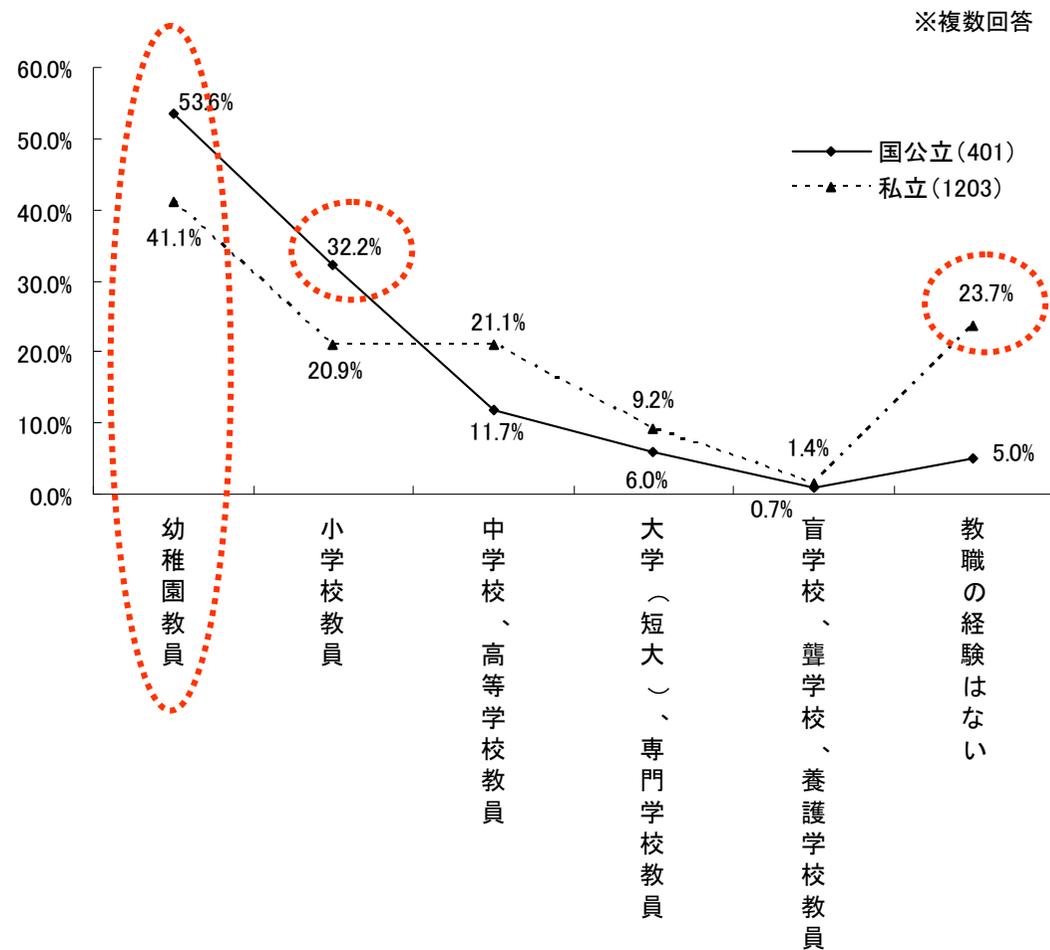
〈副園長（教頭）〉 国公立とも約4割の園に、副園長（教頭）がいる。

〈主任（学級担任を除く）〉 国公立では32.9%、私立では66.3%の園に、主任（学級担任を除く）がいる。

【園長】 幼稚園教員の経験がある園長は、国公立の53.6%、私立の41.1%にいる

■園長の教職経験

園長には教職経験がありますか。教職経験として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



国公立では53.6%、私立では41.1%の園長に、「幼稚園教員」の経験がある。また、国公立では32.2%の園長に、「小学校教員」の経験がある。私立では23.7%が「教職の経験はない」と回答している。

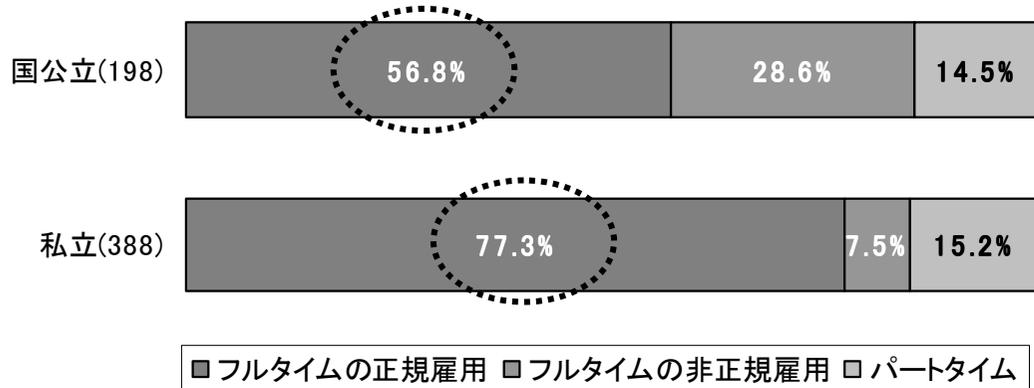
【教員】 国公立の42.3%が「10年以上」、私立の50.8%が「5年未満」の教職経験である

※教員数(合計)と、雇用形態別人数/教職経験年数別人数の合計が合致したサンプルのみ分析。無答不明を除く。

■教員の雇用形態別割合

教員数の合計と、雇用形態別・教職経験年数別の内訳人数をおたずねします。

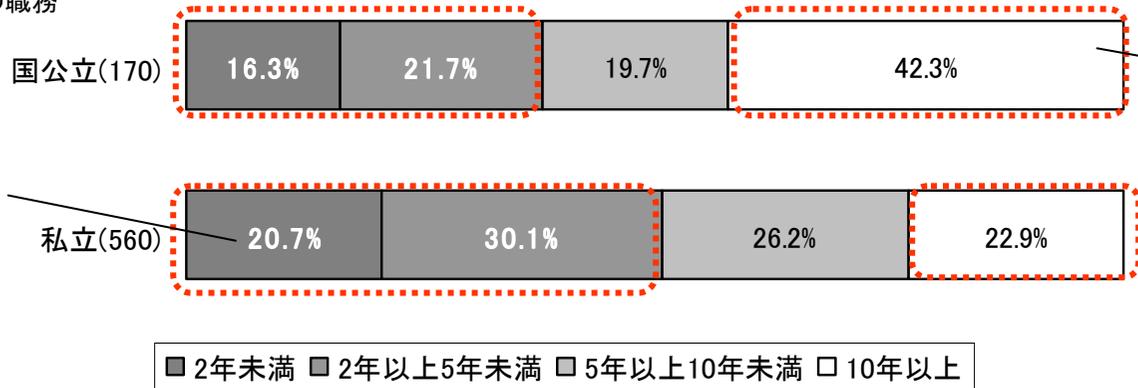
※教員数は、園長・副園長(教頭)・主任を除く



■教員の教職経験年数別割合

※貴園に限らず、教員としての職務経験年数の合計

私立では、教員の50.8%が「5年未満」の教職経験者



国公立では、教員の42.3%が「10年以上」の教職経験者

〈雇用形態別割合〉 教員全体に占める、フルタイムの正規雇用者の割合は、国公立では56.8%、私立では77.3%である。その分、国公立はフルタイムの非正規雇用者の割合が私立よりも約20ポイント高い。

〈教職経験年数別割合〉 「教職経験5年未満」の割合は、国公立が38.0%であるのに対し、私立は50.8%である。また「教職経験10年以上」は、国公立が42.3%であるのに対し、私立は22.9%となる。

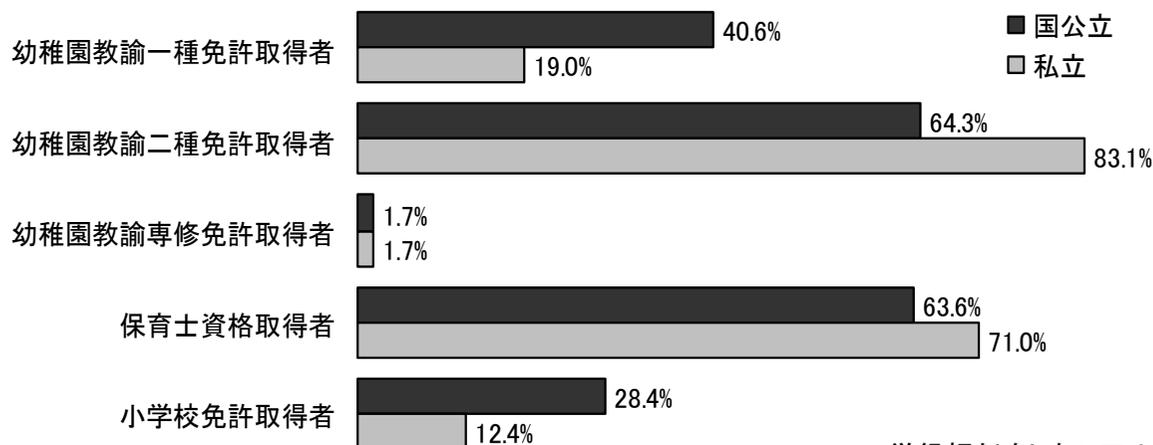
【教員】 幼稚園教諭一種免許の保有率は、国公立で40.6%、私立で19.0%である

■教員が保有する免許の種類と割合

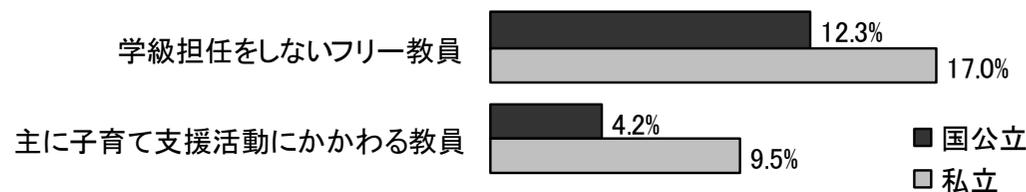
※各免許・資格の保有数を、教員数合計で割った各園の平均値。無答不明を除く。

教員の免許・資格保有者数などをおたずねします。

※複数取得している場合は、それぞれカウント



■フリー教員、子育て支援教員の割合



※以下はサンプル数(母数)

	一種免許取得者	二種免許取得者	専修免許取得者	保育士資格取得者	小学校免許取得者	フリー教員	主に子育て支援活動にかかわる教員
国公立	325	339	220	320	291	335	298
私立	792	966	471	857	638	927	695

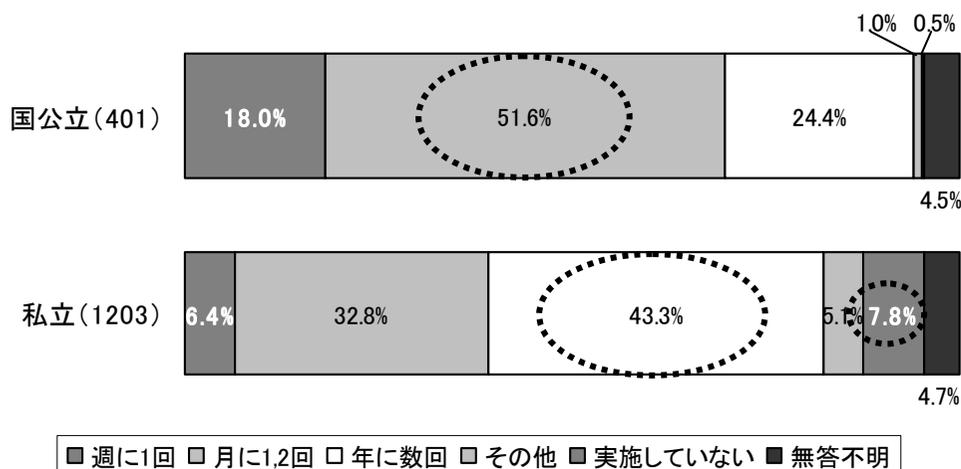
〈免許の種類と割合〉 幼稚園教諭一種免許の保有率は、国公立で40.6%、私立で19.0%である。また、保育士資格は私立で71.0%、小学校教諭免許は国公立で28.4%の保有率である。

〈フリー教員、子育て支援教員の割合〉 教員全体に占めるフリー教員の割合は、国公立で12.3%、私立で17.0%である。子育て支援活動にかかわる教員の割合は、国公立は4.2%、私立は9.5%であり、ともに私立のほうがやや高い。

【園内・園外研修】 園内研修：国公立は「月に1,2回」、私立は「年に数回」が多い

■園内研修の実施頻度

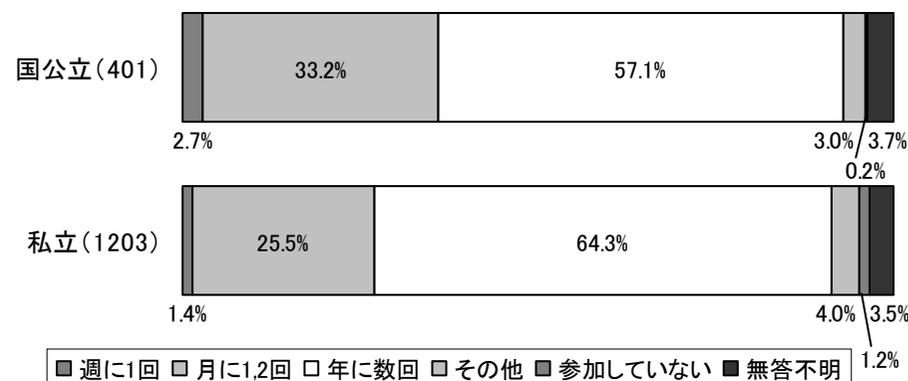
園内研修(自園で主催する研修)について、おたずねします。
実施する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。



■園外研修への参加頻度

貴園が許可して教員が受講する園外研修(外部の講習会など)について、おたずねします。教員が参加する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

※1人でも参加していれば、1回とカウント



〈園内研修の頻度〉国公立の51.6%が「月に1,2回」実施し、私立では「年に数回」実施するケースが43.3%で最も多い。
また、私立の7.8%は「実施していない」と回答している。

〈園外研修の頻度〉国公立の57.1%、私立の64.3%が「年に数回」参加しており、次に多いのが「月に1,2回」で国公立は33.2%、私立は25.5%である。園外・園内研修ともに、国公立のほうがやや頻度が高い。

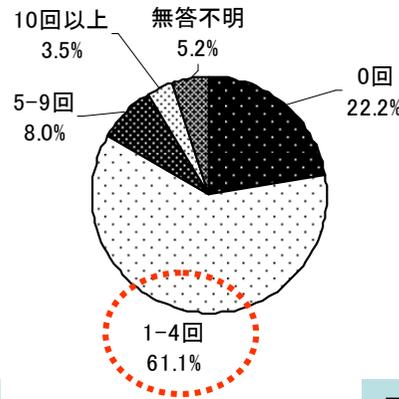
【国公立：園内・園外研修】 61.1%の園が、年に「1-4回」程度、園内研修に専門家を講師として招聘している



■ 園内研修に専門家を講師として招く回数(年間)

(サンプル数401人)

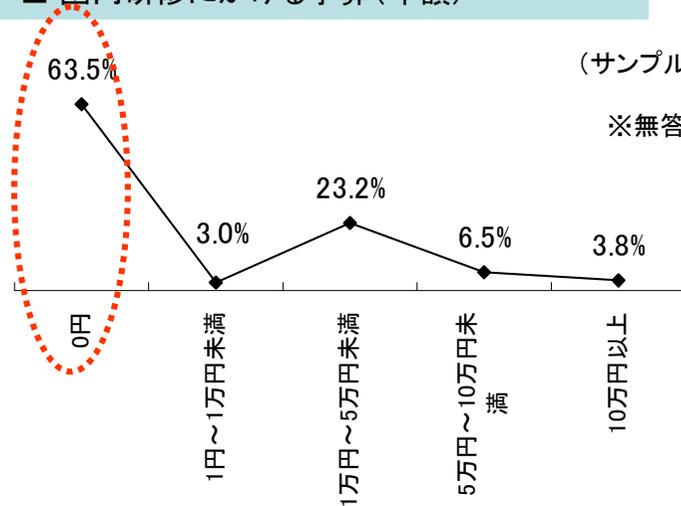
平均()回程度/年
※特に招くことがなければ、「0」回と記入



■ 園内研修にかかる予算(年額)

(サンプル数367人)

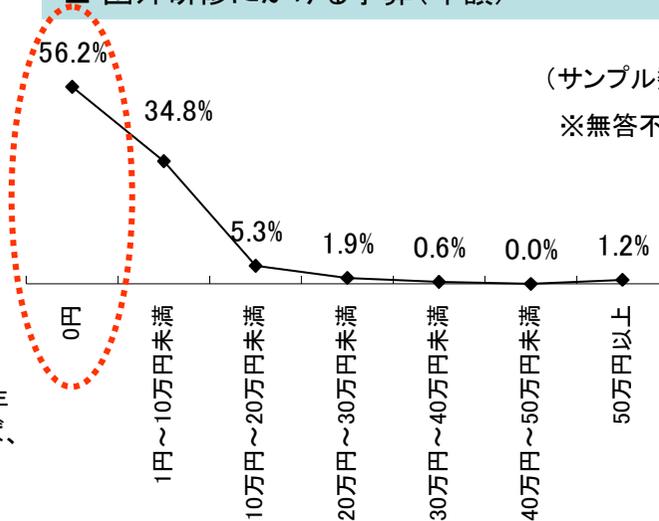
※無答不明を除く



■ 園外研修にかかる予算(年額)

(サンプル数322人)

※無答不明を除く



平均()円程度/年
※特に予算がなければ、「0」円と記入

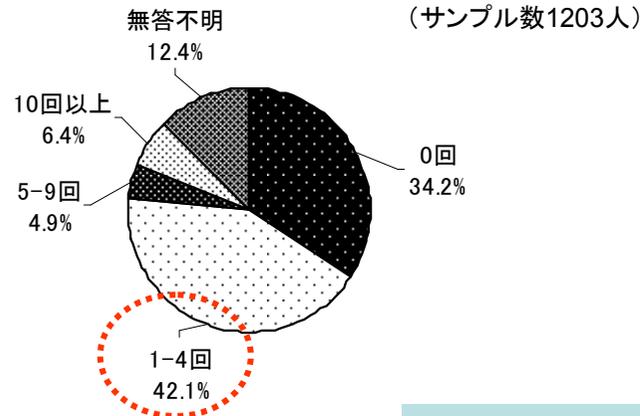
〈園内研修に専門家を招く回数〉国公立の61.1%が、年に「1-4回」程度、専門家を講師として招聘している。
〈研修にかかる年間予算〉園内研修、園外研修ともに、「0円」が最も多い。

【私立：園内・園外研修】 42.1%の園が、年に「1-4回」程度、園内研修に専門家を講師として招聘している



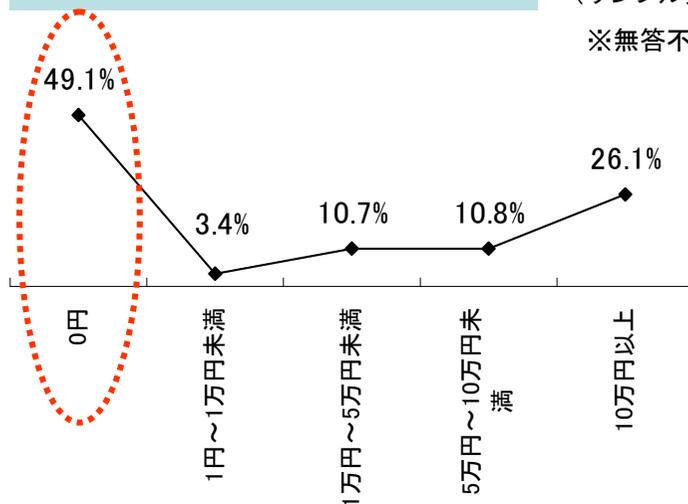
■ 専門家を講師として招く回数(年間)

平均()回程度/年
※特に招くことがなければ、「0」回と記入



■ 園内研修にかかる予算(年額)

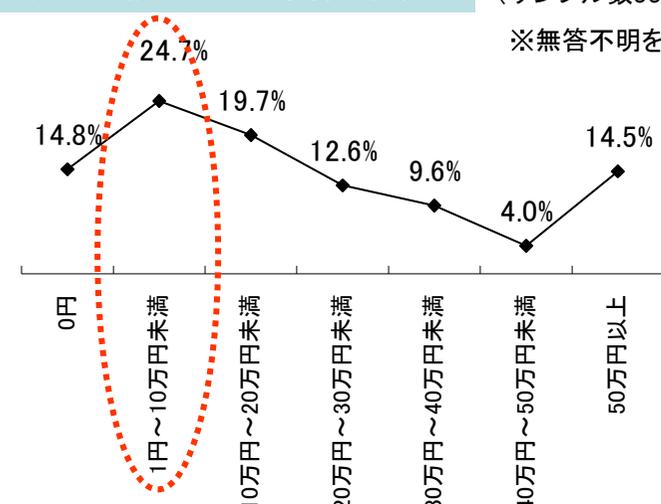
(サンプル数1012人)
※無答不明を除く



平均()円程度/年
※特に予算がなければ、「0」円と記入

■ 園外研修にかかる予算(年額)

(サンプル数991人)
※無答不明を除く

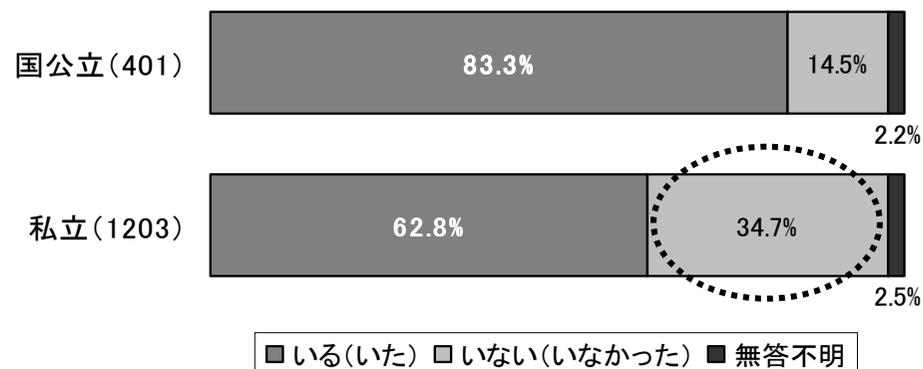


〈園内研修に専門家を招く回数〉 私立の42.1%が、年に「1-4回」程度、専門家を講師として招聘している。
 〈研修にかかる年間予算〉 園内研修は「0円」が最も多く49.1%だが、園外研修には「1円～10万円未満」の予算をつけている園が24.7%ある。

【教員】 私立の3園に1園は、妊娠・出産後の継続勤務者がいない

■ 妊娠・出産後も勤務を継続している教員の有無

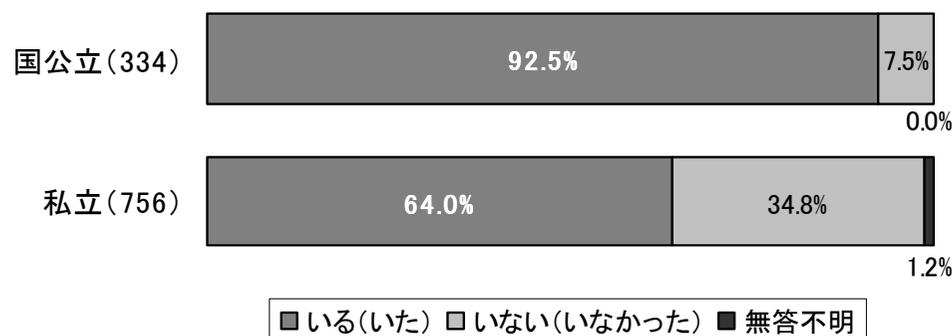
貴園では、妊娠・出産後も勤務を継続されている方がいます(いました)か。



(妊娠・出産後も勤務を継続している教員がいる(いた)園のみ)

■ 育児休業制度の利用者の有無

いる(いた)場合、そのうち育児休業制度を利用した方はいます(いました)か。



〈妊娠・出産後も勤務を継続している教員の有無〉 国公立では83.3%、私立では62.8%の園で「いる(いた)」と回答しているが、私立では34.7%が「いない(いなかった)」と回答している。

〈育児休業制度の利用者の有無〉 妊娠・出産後も勤務を継続している教員がいる(いた)園のうち、国公立では92.5%が育児休業制度利用者が「いる(いた)」と回答しているが、私立では64.0%である。

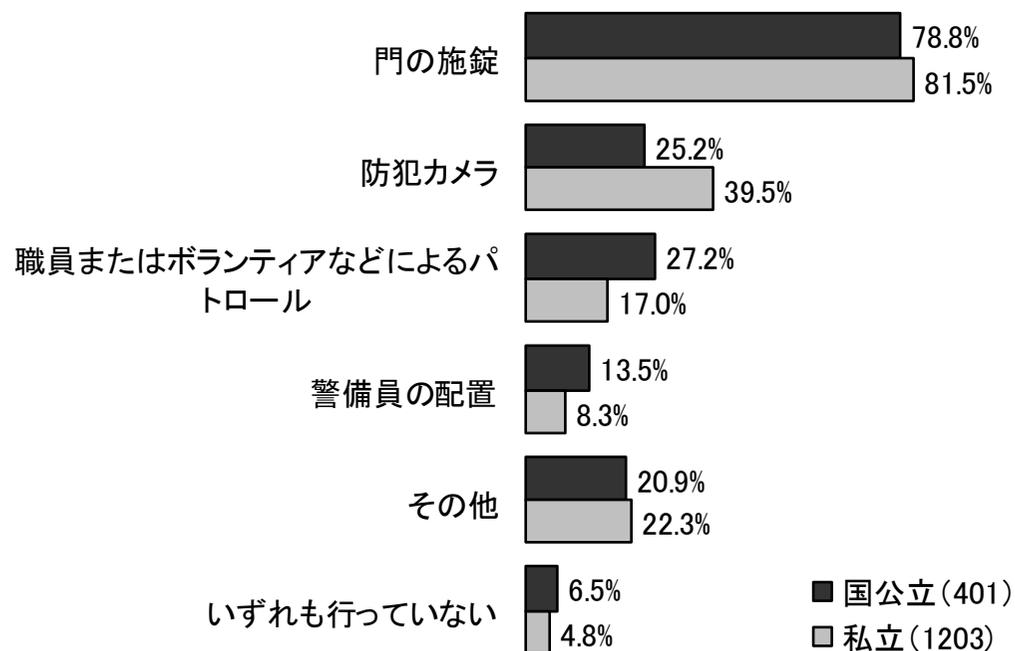
【安全対策】 国公立の25.2%、私立の39.5%が防犯カメラを設置している



■安全対策の実施率

貴園の防犯上の安全対策についておたずねします。
現在実施しているものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※複数回答



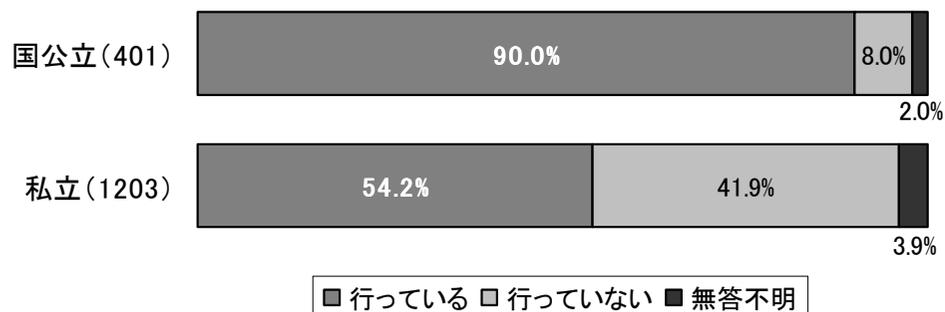
国公立ともに、約8割の園が「門の施錠」を行っている。「防犯カメラ」は国公立の25.2%、私立の39.5%の園が設置している。

【評価】 自己・外部評価の実施は、国公立のほうが進んでいる

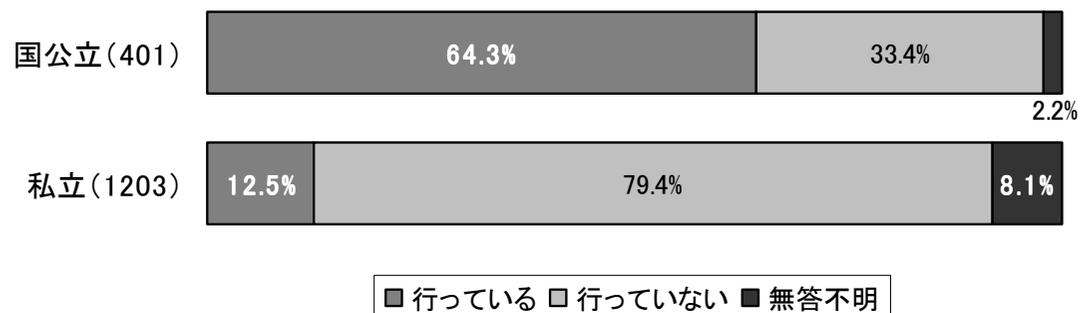


■ 自己評価・自己点検：実施有無

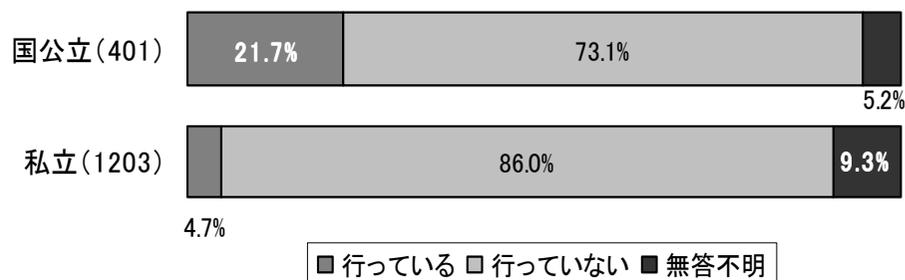
貴園での、自己評価・自己点検、外部評価、第三者による評価委員会の設置について、おたずねします。



■ 外部評価：実施有無



■ 第三者による評価委員会の設置：有無



〈自己評価・自己点検〉 国公立の90.0%、私立の54.2%の園が行っている。
 〈外部評価〉 国公立では64.3%が行っているが、私立では12.5%である。
 〈第三者による評価委員会の設置〉 国公立では21.7%、私立では4.7%が行っている。

【評価】 評価制度の新たな導入は、「検討中」の園が多い



(現在行っていない園のみ)

■自己評価・自己点検:今後の意向

※無答不明を除く



行う予定である 検討中である 行う予定はない

(現在行っていない園のみ)

■外部評価:今後の意向

※無答不明を除く



行う予定である 検討中である 行う予定はない

(現在行っていない園のみ)

■第三者による評価委員会の設置:今後の意向

※無答不明を除く



行う予定である 検討中である 行う予定はない

現在、各評価を行っていない園のうち...

〈自己評価・自己点検〉「行う予定である」と「検討中である」を合わせると、国公立では54.1%、私立では82.5%になる。

〈外部評価〉「行う予定である」と「検討中である」を合わせると、国公立では76.3%、私立では66.0%になる。

〈第三者による評価委員会の設置〉「行う予定である」と「検討中である」を合わせると、国公立では52.6%、私立では52.4%になる。